

平成 23 年 第 12 回 定例

## 摂津市教育委員会会議録

開催日時 平成 23 年 12 月 21 日 (水) 午後 1 時 30 分開会

午後 2 時 40 分閉会

開催場所 摂津市役所本館 3 階 301 会議室

### 付議事件

議案番号	件名	審議結果
70	本市公立学校長の服務上の措置の件	承認
71	平成 23 年度摂津市一般会計補正予算第 3 号図書館費繰越明許承認の件	承認

### 出席者

委員長	新庄慶昭	教育次長兼		教育政策課長	若狭孝太郎
委員長		次世代育成部長	馬場博	こども教育課長	小林寿弘
職務代理者	溝口重雄	教育総務部長	登阪弘	教育推進課長	撰田裕美
委員	大矢優子	生涯学習部長	宮部善隆	児童相談課長	北橋ひとみ
委員	原田正文	次世代育成部次長		総務課長代理	安田信吾
教育長	和島剛	兼教育センター所長	前馬晋策	子育て支援課長代理	高田邦明
		生涯学習部次長		教育政策課長代理	野本憲宏
		兼文化スポーツ課長	布川博	こども教育課長代理	木下伸記
		生涯学習部参事		安威川公民館長	岡本治
		兼生涯学習課長	池上敦実	総務課総務係員	奥村有理
		総務課長	岩見賢一郎		
		子育て支援課長	大橋徹之		

委員長

ただいまから、平成 23 年第 12 回教育委員会定例会を開催いたします。本日の署名委員は大矢委員です。よろしくお願いいたします。それでは議案審議に入る前に、議事進行についてお諮りいたします。

本日の付議事件、議案第 70 号につきましては、教育委員会の人事に関わる案件であり、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第 13 条第 6 項の規定によりまして、秘密会とさせていただきます。以下、報告事項、その他等のすべての報告が終了後、引き続いて暫時休憩の後に秘密会を再開いたしまして議案第 70 号について関係部課長の出席を求めまして審議をしたいと思いますがご異議ございませんか。

全委員

異議なし

委員長

異議なしとのことですので、付議事件議案第 71 号からの審議を行いたいと思います。

議案第 71 号「平成 23 年度摂津市一般会計補正予算第 3 号図書館費繰越明許承認の件」を上程します。生涯学習課長から説明をお願いします。

生涯学習課長

議案第 71 号「平成 23 年度摂津市一般会計補正予算第 3 号図書館費繰越明許承認の件」について別紙のとおり決定したいので、承認を求めるものでございます。

【以下議案書、参考資料等により説明あり】

委員長

何か質問はございますか。

大矢委員

要するに、工事が長引いたので年度内に予算を消化せずに繰り越すということでしょうか。

教育長

今度の工事は、外壁をネットバリアー方式ですということを進めていたのですが、文教の委員会などで土台そのものが大丈夫なのかという意見がありました。コンクリートの強度など、検査をいたしまして、約 3 ヶ月ほどの工事なのですが着工が遅れるということです。

委員長	他に質問はございますか。無いようでしたら、議案第 71 号「平成 23 年度摂津市一般会計補正予算第 3 号図書館費繰越明許承認の件」について原案どおり承認いたします。続いて報告事項に移ります。事業実施に伴う奨励援助の件について、総務課長より説明をお願いします。
総務課長	〔事業実施に伴う奨励援助の件について報告あり〕
委員長	何か質問等はございますか。無いようでしたらその他に移ります。
教育政策課長	〔以下、参考資料等により、(1) 平成 23 年度 11 月までの問題行動等件数について報告あり〕
委員長	何か質問等はございますか
原田委員	お互いクラブの中で行われておりますし、本人たちもいじめの認識があまりなく行っているということで、なかなか指導が難しいと思うのですが、実際に不登校になる子も出てきておりますし、行き過ぎていると思います。やはり行き届いた指導が必要だと思います。
大矢委員	サッカー部全体が関わっている問題なののでしょうか、それともごく一部だけなののでしょうか。部員は何人くらいいたのでしょうか。
教育政策課長	全体の部員数は把握しておりませんが、全員が関わったものではありません。
委員長	他に何かございますか。無ければ、次に進みます。
教育政策課長	〔以下、参考資料等により、(2) 平成 24 年度全国学力・学習状況調査に関する実施要領について報告あり〕
委員長	簡単に言えば、理科が追加されたということですね。
委員長職務代理者	30 パーセントの抽出ということですが、これは来年初めてではないですね。全国で 30 パーセントだから、大阪府下でも 30 パーセン

トなのかどうかということと、費用負担の点で、希望利用とどう違うのか。例えば、希望利用の場合は、採点なども委託でしておられます。そういうのも、抽出の場合は同じなのかどうか。

教育政策課長

まず、抽出の割合でございますが、これは市によってはバラバラです。多い市もございますし、それより少ない市もございます。他市の抽出割合につきましては、一切示されておりません。概ね3割としか聞いておりません。これは実施要領にも出てきていないと思います。抽出調査につきましては、本市の持ち出しはございません。希望利用で業者委託した場合は、それぞれの市町村で予算を組む形になりますが、抽出調査につきましては国が全額負担で本市の持ち出しはございません。

教育長

今後、希望利用するのかどうかということを決めておかなければならないのではないのでしょうか。抽出は当然行うが、去年は希望利用しました。そういうことを、もう少し経ってから、決めなければならぬのではないのでしょうか。また、資料出して下さい。

次世代育成部次長

今、教育長からございました、希望利用を使うかどうかの件でございますが、1月20日過ぎに回答する必要がございます。次の教育委員会で最終的に決定してもいいと思うのですが、事務局の方といたしましては今のところの案では、大阪府も悉皆で同じ学年で調査を行います。大阪は全国と違いまして、理科ではなく英語が入っています。今年度、悉皆で大阪府の調査を行いましたから来年度の悉皆で大阪府の方に参加いたしまして比較検討していきたいと思っております。同じ学年で、理科と英語の違いはありますけれども、同じような内容で時間を使う学校の負担もありますので、大阪府の調査悉皆で行う、国の方は抽出校のみで行うというふうにしていきたいと考えております。これは案ですので、正式には次回の定例会にて決定していただけたらと思います。

教育長

府の実施要項も出ているのですか。

教育政策課長

府は6月の教育委員会を出しております。

大矢委員

大阪府と国と同じようなテストをしているのですが、保護者から言わせてもらうと、大阪府の方はちゃんと解答用紙を返してくれて

いるので親としては、本人も親もそちらの方が結果が分かりやすいと思います。どちらか一方というわけであれば、府の方がいいかなと思います。

委員長

他に何かございませんか。無ければ次に移ります。

〔以下、参考資料等により、(3) 大阪府学力・学習状況調査、摂津市体力・運動能力調査結果概要説明会について報告あり〕

委員長職務代理者

先に、遅れているということを言われたので言いにくいのですが、確かに学習状況の調査については6月14日に実施されております。我々への報告も9月16日の委員会でいただいております。体力の方も、5月から7月までですから1学期中に終わっているんですね、我々への報告は10月の定例会でいただいております。3学期なんていうのは、あっという間に過ぎてしまうんですね。このテストの結果によって、さらに進学する子につきましては、参考になると思うのです。本人の手には、早い時期に渡っているのかと思いますが、全体状況というのは分からないわけですね。今年は取り返しがつかないから、どうしようもないわけですが、少なくとも定例委員会と同時期ぐらいに行っていただきたいと思います。要望です。

大矢委員

教育フォーラムでも毎年説明をされていると思いますが、去年のPTA大会でもされたかと思うのですが、今年度の教育フォーラムはいつでしょうか。

教育政策課長

2月4日土曜日でございます。フォーラムでの報告は考えておりません。

委員長

他に何かございますか。無ければ、次に進みます。

総務課長

〔以下、参考資料等により、(4) 別府小学校校舎庇部仕上げモルタル落下について報告あり〕

教育長

この問題、5月末に市民図書館の外壁、今回の落下事故と続いております。大変重く受け止めまして、市全体、公共施設全体の建物が古いということで点検をしていかなければならないということで、財政も入って、まず教育施設からしていこうということになりま

した。これで、悪い箇所がありましたら調査して対応していこうと  
いうことになりました。市全体の取組として、取り組んでいこうと  
思っております。

委員長

この件につきましては、我々の方には研修会の際に少しお話があ  
りました。

大矢委員

確認なのですが、平成 11 年に耐震工事をしたと聞いておりま  
すが、その時にはその部分は触ってなかったのでしょうか。

総務課長

校舎の部分は耐震工事が終わっておりまして、その時に庇の裏部  
の一部や壁等につきましては、補修を致しております。外壁の塗装  
は施しておりましたが、今回の底部分につきましては、防水モルタ  
ルで当初の建築工事からその分については改修ということまでは  
していなかったと思います。

教育長

別府小学校が築 40 年ですが、もっと古い学校はまだまだありま  
すので、かなりきめ細かく調査していかないといけません。

委員長

他に何かございますか。無ければ、次に進みます。

総務課長

〔以下、参考資料等により、(5) 平成 24 年度の教育予算の要求概  
算について報告あり〕

教育長

来年度の 24 年度の当初予算は、やはり先ほどもございましたが  
施設補修にかなりの予算がいるだろうと見込んでおります。そし  
て、東日本大震災から防災にあてる予算が中心になってきていると  
思います。教育委員会では、施設改修をどうしていくのかというこ  
とが大事だと思います。私が見ていて、課題になっております 1 つ  
は学力向上の問題とかに関しては人件費で昨年とおり 8000 万超え  
の予算を確保しておりますので、来年度はどちらかというところと緊急性  
のある方からやっていくつもりです。

委員長職務代理者

今、教育長からお話ありましたとおり来年度はハード部分が中心  
になっていくだろうということですが、命に関わることでもありま  
すし、非常に大事なことだと思いますので原案どおり行っていただ  
いて結構だと思います。ただ、教育の面からソフトな課題をどう取

り込んでいくかということです。知、徳、体という分野で申し上げますと、知の部分では毎年学力テストでも取り上げていますが、一定の傾向と対策を打てば府下平均とかいうレベルでは校長以下が頑張れば達成できると思います。そういう学力ではなく、本当に生きていく力に結びついていくような、そういう学力を長期に渡って取り組まないといけないのではないかと考えておりました、教科で言えば、国語です。読み書き話すという力がないと、なかなか社会に出た時に、負けてしまうということがあると思いますし、学校の勉強だって、読解力があるか、ないかによって、数学ひとつとっても何を解いたらいいのか分からない、ということがあると思います。そういう部分では朝の読書といい、感想文の発表といい、これは取り組んでいただいていることは十分理解しております。それはそれとして、従前とおりに取り組んでいただいて結構ですが、10月27日に読書の記念日というものがあります。記念日を定めているということは、それなりの意義があるということですから、何かイベントなど活用してもらいたいなと考えております。確か、去年か一昨年は講演会など類の事業があったかと思えます。講演会なども決して否定はいたしません、最後は弁論大会といいますか、課題図書を読み、作文をまとめ、それを発表するというような一定の競い合いというものもあります。そのような事業をぜひ入れて組み立ててほしいと思います。これは、長期にわたって実施していかなければ、一朝一夕に学力などつかないと思います。市長が、人間基礎教育と言われておりますが、一定挨拶の部分等においてはかなり、学校でも挨拶をする子が増えてきたと聞きます。あの項目自身は、市民的にも周知されてきたと思うのですが、実践ということになればまだまだこれから努力が必要なのではないでしょうか。これも5項目ありますし、1項目ずつそれぞれ考えようによっては幅が広がります。例えば、奉仕なら奉仕、これを平成24年度の記念年にいたしまして、奉仕を中心に色々な事業を起こしていく、例えば掃除などというものは、立派な奉仕活動です。これを、大人だけがするのではなく、子どもたちも一緒にやらすことによって講座的な奉仕等の説明ではなく、事業を通じて感じ取ってもらうということが大事なのではないかと思えます。これは、市長懇談の時にも申し上げたとおりですが、教育委員会だけでは取り組めないことだと思いますので、摂津市全体で取り組んでいただければいいのではないかと考えております。それから、体育の部分で毎年言われているとおり府下全体の傾向なのですが、ある部分では強いけれど、ある部

分では弱いとか形質的に見ると、非常にアンバランスな運動能力や体力の育ち方になっている。日常的に例えば小学校では冬場には早出をするとともに、年に1回の測定を1つのイベントとして競技として工夫して行っていたらなと感じます。今3点申し上げましたが、いずれにしても予算的にも些少な予算で出来るのではないかと思います。私は、政策要求としては3点、申し上げたいと思います。

教育長

今、お聞き致しました内容、これまでもずっと聞いている内容でして、学校がどう取り組むか、教育委員会がどう取り組むかという問題もあると思いますけれども、一度行うのであれば読書の問題、体育の問題、他の委員にも実態がどうなっているのかということを出させていただいて、どこから取り組んでいったらいいのかというのが1点と、先日の校長会でもお話をさせていただいたのですが、学校が取り組む場合に学校はどのように考えているのかということをお互いに、教育委員会から下ろしていくときに学校体制の問題もありますので、その話し合いを定期的に持とうという話し合いをしています。その中に、学力の問題もありますし、この間から出ております、学校協議会についても現状がどうなっているのかという議論をして、それからまた教育委員会を出させていたきたいと思っております。まず、現状を時間をとって見に行きたいと思っております。

委員長職務代理者

中学校給食の取組は、どういう方向になってきておりますか。

教育長

中学校の給食の取組につきましては、来年3月末までに計画書を提出しなければならないので、内部でも議論しているところです。毎年2億ものお金がかかってきますし、さまざまな方法がありますので、まだ少し時間の余裕がありますので考えているところです。

大矢委員

支援学級の支援員が増員1名とあります。この間の三島ブロックの研修の際にも、支援学級が大変な状況にあると聞きました。たまたま、支援学校の方で校長先生からお話聞くことがありまして、支援学校もどこもパンク状態で作っても、作ってもパンクしていくそうです。そのため、地域の小中学校の支援学級を充実させることができれば、支援学校にくる子どもは減るのではないかというお話でした。ノーマライゼーションの観点からも、それが望ましいと思いました。



教育長	この問題も一回議論したらいいと思っています。この間の研修会でも言っていました。25クラスくらいが50クラスくらいになってきているなど、各市非常に増えています。介助員を支援員に変えて、予算的に単価を低くして、その変わり人数を増やそうということで、行っております。個人の情報を、小中学校が把握しておかなければ、その子にとって何が1番いい教育なのかを知る為にも必要だと思います。
原田委員	民生費ですが、地域子育て支援運営事業というところでせつつ、第二とりかい、べふの方がひろばの整備拡充なのですが、その他の施設はないのですか。
こども教育課長	24年4月に開設いたします、べふこども園の方につどいの広場とう広場を設けまして、そこで新しく開設する分とあります。第二とりかい保育園につきましては、新しくつどいの広場を開設していただくということで、これは週3日を予定しています。せつつ保育園につきましては、現在週3日開設していただいておりますけれども、それを週5日開設予定です。
教育長	これは園庭開放ですか。
こども教育課長	園庭ではなく、部屋の中で親子が集まっていただくような感じです。
教育長	子育て支援センターに見学に行った時に、地域の人が親子で遊んでたりしたが、あのような感じですか。
教育政策課長	11月下旬に朝日教育新聞社主催のいつもありがとう第5回作文コンクールの入賞作品の発表がございました。全国で32342作品の応募がありまして、本市個人の作品の入賞はございませんでしたが、味生小学校が学校賞をいただきました。団体賞5校のうちの1校に入賞いたしました。ご報告いたします。
委員長職務代理者	今のは、5校のうち1校として表彰を受けたということですが、何を評価されたのですか。
教育政策課長	団体賞については、コメントがございませんでした。学校賞をい

ただいたのですが作品の数が多いとか内容の質が高いとかの基準は示されておられません。

教育長

テーマは何ですか。

教育政策課長

いつもありがとうございます、です。身近な方への感謝、思いを募った作品です。

次世代育成部次長

私、12月15日から17日までの3日間、釜石市の方へ研修派遣を受けまして行って参りました。防災計画や防災教育を行っていく上で、いろいろ学んでこいということでございました。作成中ですが、研修の内容が分かっていたかと思ひまして、報告書をお配りさせていただきました。釜石市は、報道にもありますように、小中学校での防災教育の取組を、これまで8年間行ってきましたが、その取組が成果を上げて小中学校で残念ながら5名が尊い命を落としているのですが、ほぼ全ての子どもたちが命を落とさずに済んだということは防災教育の賜物であると聞いております。その指導は、群馬大学の片田教授が行ってきたのですが、10月17日には、群馬大学に行きまして、片田先生の研究室で釜石市の取り組みについての話を伺ってきたところです。今回、釜石市に行って、実践等についても学校を訪れてお聞きして参りました。釜石市の方では、実は震災枠で10月1日採用で入りました2名の職員が派遣研修で10月20日過ぎから明日まで研修で色々な手伝いを含めてしております。今回彼らを訪ねていくということも一つの目的でした。内容については、またご覧いただけたらと思ひますが、釜石市の防災課の課長から、これまでの取組等も聞いてまいりました。ハザードマップというものが非常に注目されておりますけれども、釜石市は何度も津波にあっておりましたが、これまでのハザードマップが安心マップになってしまって、浸水区域にならないだろうという所で多くの被害者が出ました。特に鶴住居という町の地区は、逃げ遅れてしまい、たくさんの方が命を落としたと聞きました。防災課の課長は、子どもたちが助かったということは非常にクローズアップされているが、釜石市で行方不明者も合わせて約1000の方が命を落としたと話しておりました。今までの対策はしてきたつもりだけで終わってしまっている、と非常に反省もしておられました。今後いかに、自主防災の体制を確立していくか、またきっちり自分自身が命を守ろうという意識をいかに身につけるかが大切だと話しておられま

した。緊急時に本当に緊急だとの情報伝達をどうしていくか、そういったことが課題だとおっしゃっていました。釜石小学校の方では、実は地震発生時に下校していました。午後から教員の研修で、午後から授業カットの日でした。学校管理外のところで、全員が助かったというところなので、日頃からどのような防災教育を行ったか、非常に興味がありました。しかし、防災教育のことばかり尋ねられるのですが、それはほんの一部であり日頃から子どもの心の教育というものが充実していたから、防災教育が活きたのだと校長先生が話していました。また地域との繋がり、これも大事だと、釜石市のいたるところに「絆」というステッカーが貼ってあったのですが、絆があったからこそ家に帰宅していた子どもが助かった、子ども達は率先避難もしていたのですがそんな話もお伺いしました。子どもが大人を変えるということで、今回のことで新しい継承の始まりになればいいという話もお伺いしてきました。釜石東中学校は、被害の多かった鵜住居にある中学校なのですが、この中学校の子どもが地震発生後すぐに逃げ出し、地震が発生したすぐに避難場所に逃げろという教育を行ってきたから、小中学校2校助かったのですが、その校長先生からもお話を伺ってきました。校長先生は、防災教育だけでなく、日頃からの学校作りだと、教員が何事にも真剣に取り組む姿勢、それを見て子どもたちが何でも真剣に取り組むとそういったものが重要であると、また校長のリーダーシップが必要だと校長先生は言い切られました。防災教育という観点では、本市の場合は釜石市とは違いますが、学校作りをきちんと行っていくことが教育の効果を生むということで今後校長にも伝えていきたいと思います。8 ページにもあります、防災教育の徹底や、ルール作りの徹底、周りの人への心配りということで、人間基礎教育にも繋がると思いますし、防災教育の前提としても人間基礎教育の徹底も重要であるなど考えております。今後、取り組んで参りたいと思っております。

委員長

ありがとうございます。この間NHKで放送がありましたね。何か質問はございますか。続きまして、各課事業報告及び結果報告について、総務課長より説明をお願いします。

総務課長

〔各課事業予定及び結果報告について説明あり〕

委員長

開会の冒頭に説明いたしましたとおり、暫時休憩をとりまして、

議案第 70 号「本市公立学校長の服務上の措置の件」の審議を秘密会といたしまして再開したいと思います。

《暫時休憩》

【以下、秘密会のため削除】

委員長

これで平成 23 年第 12 回定例会を終了いたします。ご苦  
労様でした